

晴嵐館報

甲辰 賀正



新春を迎え、健やかに過ごしのことと存じ上げます。コロナ感染症の影響からようやく平常に戻ってまいりました。日々の生活も新たなスタイルが定着したのではないのでしょうか。

昨年末の12月18日、「書道」がユネスコの無形文化遺産登録の申請にこぎつけたというニュースが飛び込んできました。認定されるまでまだ2年以上かかるとのことですが、明るい話題のひとつとなりました。今後も日本の伝統文化として継承していきたいと思えます。

晴嵐館の維持運営は、寄附金と維持会費によります。何卒ご賛同下さいませよう今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

今後の事業として、1月末には「中道書き初め展」、2月には師範証授与式、文房四宝講習会、3月には指導セミナー、教室作品展、錬成会、検定試験相談会を開催いたします。是非ご参加ください。また晴嵐館展示室では、3月20日まで企画展示「大池晴嵐の書～単体の表現Ⅱ」を開催しています。3月22日からは春季特別展示「郷土の書家X」を開催します。是非とも肉筆を間近にご覧ください。晴嵐館事業が書道を通じて学校書写書道教育の発展に寄与するとともに、書道が社会や経済の下支えになることができればと思います。

お知らせ

ご案内

- 晴嵐館展示室
- 中道書き初め展
- 師範証授与式、師範会
- 文房四宝講習会
- 書道指導セミナー
- 教室作品展
- 春季錬成会、受験相談会

- 一般部競書「書芸中道」
- 教室案内
- 作品研究会
- 書道催事支援事業
- 図書資料の貸出・閲覧
- 錬心講堂の利用
- 展覧会お出かけガイド

事業報告

- 全国教育書道展・中道書法展 表彰式
- 書道教育講習会
- 師範選抜書展
- 秋季錬成会
- 書道指導セミナー
- 秋季師範試験合格者
- 寄附者リスト

- 寄附金募集
- 会員募集

ご案内

晴嵐館展示室

企画展示

「大池晴嵐の書～単体の表現Ⅱ」
3月20日まで 木曜休館 観覧料300円
晴嵐の肉筆を是非ご覧ください。

春季特別展示

「郷土の書家X」
3月22日～4月3日 木曜休館
観覧料300円

中道書き初め展

書き初めを通じて、書道文化の普及と書写書道教育の発展に寄与するとともに、優れた作品・生徒を顕彰し、学生の書道技能ならびに指導者の指導技術向上をはかります。
会期 1月28日（日）午前10時～午後4時
会場 布袋ふれあい会館（名鉄犬山線布袋駅前）
表彰式 1月28日 午後2時から 於同会館

師範証授与式・師範会

日時 2月23日（金・祝）午前11時～
会場 江南市地域交流センター
（布袋駅東複合公共施設1階）

本年度は漢字部5名、かな部4名、硬筆部3名の方が新しく師範に合格されました。師範証授与式のあと、新師範のご紹介をいたします。

文房四宝講習会

筆・墨・硯・紙などの書道用具や、書写書道全般にわたる実用的理論的な専門知識を得ることにより、書道を愛好する者のレベルアップをはかります。

日時 2月23日(金・祝)

午後1時～2時30分

会場 江南市地域交流センター(布袋駅東)

タイトル 「書道用具の最新事情」

講師 伊藤大林堂 店主 伊藤 均 氏

内容 書道用具等の生産、流通から販売まで、近年の動向をふまえ、用具を求めるにあたって、プロの目線でわかりやすく説明していただきます。

参加申込 2月2日まで どなたでも聴講できます。ただし、状況により人数を制限する場合があります。

令和5年度 書道指導セミナー

書道教室等での指導運営にあたり、技能的理論的スキルを習得するため、研究の場を設けます。参加料は無料。申し込み不要。

日時 3月10日(日) 午前11時～12時

場所 晴嵐館 錬心講堂

テーマ 手本を書く、常用漢字の字体字形について、その他

※毛筆・硬筆用具一式ご持参ください

教室作品展

教室における学習成果を発表し、書道を愛好する一般市民に作品を公開することで、書道教育・書道芸術の向上をはかります。

3月23日(土) 午前10時～午後4時

24日(日) 午前10時～午後4時

江南市民文化会館 1階展示室

展示作品 漢字・かな・篆刻・こども学生書道

毛筆・硬筆 春季錬成会

春期検定試験・師範試験を実施するにあたり、作品制作の実技指導をすることにより、合格ラインへのレベルアップをはかります。

日時 3月24日(日) 午後1時～3時

会場 晴嵐館 錬心講堂

会費 3,000円(硬筆・毛筆ともに受講可)

用具 硬筆 ペン・ボールペン一式

毛筆 書道用具一式

☆毛筆の条幅は、作品を持参してください。

受験相談会

検定試験受験についてのご質問などをお伺いします。遠慮なくご相談ください。

日時 3月24日(日) 午後1時～3時

場所 晴嵐館 錬心講堂

相談料無料

一般部競書「書芸中道」(毛筆・硬筆)

高校生から出品できますが、中学3年生の特待生・準特待生からも出品できます。大人の世界で是非腕を慣らしてください。

教室案内(毛筆研究)

毎月第1・3・4土曜日 午前10時～12時
(都合により変更あり)

初心者から手ほどき 検定試験、展覧会作品の指導もいたします。

定員 15名(現在余裕あります)

指導 大池青岑氏

受講料 5000円/月(展示室観覧料含む)

教室案内(篆刻研究)

毎月第3月曜日 午前10時～12時(都合により変更あり)

印稿作りと刻法・印学を学習します。各自思い思いのこぼを方寸の石印材に刻し、印章を仕上げます。

定員 15名(現在余裕あります)

講師 岡野楠亭氏(日展準会員)

受講料 3000円/月(展示室観覧料含む)

謙慎書道展 作品研究会

謙慎展出品作品を2～3点お持ち寄りください。

1月7日(日)、28日(日)

午前11時～12時

新規ご出品には申し込みが必要です。晴嵐館までお申し出ください。

書道催事支援事業

地域における書道催事に対し、公益財団法人晴嵐館後援名義使用・晴嵐館賞賞状交付・催事案内公告等をおこないます。地域団体・グループの書道展覧会、個展、書道イベント等の催事を支援します。

1. 催事の各種印刷物への「後援公益財団法人晴嵐館」名義使用

2. 晴嵐館賞の賞状交付

3. 催事案内として内容を機関誌および晴嵐館ホ

ホームページに掲載
4. その他・・・詳しくはお尋ねください

図書資料の貸出・閲覧
中国や日本の書道の名品名跡、字典辞書、実技技法書、理論書、その他美術文学にわたる書道の周辺の様々な図書文献約4000冊、映像資料等を、一般の図書館と同様に貸出します。館内での閲覧もできます。書道に関心のある方ならどなたでもご利用になれます。詳しくは晴嵐館までお尋ねください。

錬心講堂の利用
書道に関する研究会等の集会などにご利用ください。
収容人員 約40名まで
利用料金 1000円/時
詳しくは晴嵐館までお尋ねください。

展覧会お出かけガイド

道風記念館
館蔵品展「書に想いをのせる」
前期 2月12日まで
後期 2月27日～4月21日
月曜休館
(電車) JR中央線「勝川」下車、タクシー10分
(車) 名二環上り線は「松河戸IC」から3分、下り線は「小幡IC」から5分

徳川美術館・蓬左文庫
企画展「うるわしの古筆」
1月28日まで 月曜休館
(名古屋基幹バス)「徳川園新出来」下車徒歩3分
(メーグル)「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車

東京国立博物館 東洋館8室
「呉昌碩の世界—金石の交わり—」
3月17日まで 月曜休館
JR「上野」下車

書道博物館
特別展
「呉昌碩の世界—その魅力と受容—」
3月17日まで 月曜休館
JR「鶯谷」北口徒歩5分

謙慎書道会「呉昌碩展」
フェニックスホール(銀座 紙パルプ会館)
1月16日～21日

(JR)「有楽町」下車
(東京メトロ)「銀座」「銀座一丁目」下車
(都営浅草線)「東銀座」下車

「第68回 現代書道20人展」
松坂屋美術館(名古屋 矢場町)
1月27日～2月4日

「第10回 日展 名古屋展」
愛知県美術館ギャラリー
1月24日～2月12日
(1月29日・2月5日 休館)

「謙慎書道会展」
東京都美術館
3月17日～23日 月曜休館
「謙慎書道会中部展」
愛知県美術館
3月26日～31日

事業報告

全国教育書道展・中道書法展 表彰式
令和5年8月11日(金・祝)、愛知県美術館12階アートスペースAにおいて表彰式を実施しました。
全国教育書道展 市教育委員会賞以上122名
中道書法展 入選以上118名

書道教育講習会
令和5年8月30日(水)
「かなへのいざない2」
講師 日展会友 山本雅月氏
かな連綿や散らし書きの形式など、かな書道の楽しみ方を学びました。参加者9名

第48回 師範選抜書展
令和5年9月12～17日
名古屋市民ギャラリー栄
入場者数325名
出品者【新師範】木村彩華、田村梅香、新家雲峰、波多野萌、目黒美保、山川有響(以上6名)【委員】大池青岑、倉田朝華、寺田小華、浪打靄舟、新家峰石、新田双桃(以上6名)【師範】赤星白峰、伊藤秀英、上野一華、宇佐美吉恵、梅本千寿、江口清翠、太田彩泉、奥山竹峰、金澤秀鴛、金津宗俊、加原容子、川崎尚華、菊池知佳、清須翠峰、酒井紅水、下無敷蒼玉、鈴木希代美、千田京華、園田三輪子、滝川祥苑、多氣靖岱、武山春雪、館鈴木、角田桂月、中嶋さつき、永戸溪水、仲村春水、長東香翠、西小野里朧、野村繁子、平井瑛玉、福山仁雅、藤葉香玲、藤原清泉、舟木樸風、北條瑤光、堀尾千絵、松江香華、松岡華泉、松崎朱實、松原映翠、水野香葉、溝口

彩華、三井吟龍、安田加奈、山内香霖、山本映月、山本紬衣、油井恵子、和田吟水（以上50名）（敬称略）【特別展示】大池晴嵐遺作1点

秋季書芸中道・硬筆中道錬成会

令和5年10月6日

秋期検定試験・師範試験を実施するにあたり、作品制作の実技指導をすることにより、合格ラインへのレベルアップをはかりました。参加者4名

書道指導セミナー

令和5年10月26日（日）

テーマ 手本を書く、常用漢字の字体字形について
参加者 3名

令和5年度秋季 師範合格者

次の4名の方が新しく師範に合格されました。今後は指導者として、芸術活動、後進の指導にさらにご活躍されますよう願います。

【毛筆漢字】新家雲峰【毛筆かな】山口流風【硬筆】小林伶奈、山田花翠（敬称略）

寄附者リスト（寄附順）

令和5年4月1日～12月31日まで

池田和香様、滝静江様、渡辺月潭様、溝口照美様、奥坂董徑様、寺田小華様、江良昭雄様、師範（11名）様

この度はご寄附を賜り、誠に有難うございます。寄附規定にございますように、3分の1以上は公益目的事業に使わせていただきますとともに、施設設備補修の費用に充てさせていただきます。

第11期寄附金募集

各種事業遂行のため、皆様方からのご芳志をお願い申し上げます。

寄附金の振込先

郵便振替口座 00850-1-45233 晴嵐館まで
※晴嵐館へ寄附されますと、確定申告時に所得控除を受けることができます。「寄附金受領書」と「寄附控除に係る証明書」は、年明けにお渡しいたします。詳しくは税務署または税理士にお尋ねください。

令和4年度、会員募集（新規・継続）

- 維持員会費、年額1口 12,000円（晴嵐館の目的・事業に賛同する個人）
- 賛助員会費、年額1口 10,000円（晴嵐館の事業に賛助する個人または書道関連団体）

※会費の3分の1以上を公益目的の事業に使用します。

晴嵐館の目的および事業（定款より抜粋）

（目的）この法人は、書家大池晴嵐の作品を始めとする書道作品及び大池晴嵐の作品制作の場となった庭園を公開・開放するとともに、書道芸術及び書道教育に関する事業を行うことにより、書道文化の振興及び書道教育の発展に寄与することを目的とする。

（事業）第4条この法人は、前条の目的を達成するため、次の公益目的事業を行う。

- ① 書道作品等の収集・展示及び庭園の公開に関する事業
- ② 書道に関する講習会、展覧会その他書道教育に関する事業

名誉顧問（敬称略）

大池廣

特別維持員（高額寄附者・敬称略）

江良昭雄

役員（◎＝代表理事○＝業務執行理事）

評議員	佐藤孝憲	佐分力夫	田島毓堂
	野木森雅郁	長谷川正則	波多野美也
	日比野和代	牧野圭佑	森 邦明
	安田文吉	山田茂美	
理事	◎大池茂樹	加藤三紀彦	千田道弘
	滝 尚文	○松川良治	
監事	片山泰宏	山内康男	

晴嵐館情報QRコード



ホームページ・メールアドレス・住所・地図が登録できます。

この館報のバックナンバーは晴嵐館ホームページでご覧ください。

せい らん かん
晴嵐館

書道の美術館 公益財団法人

〒483-8187 愛知県江南市大海道町青木 22 番地

TEL 0587-56-3170 FAX 0587-56-3174

Eメール info@seirankan.blush.jp

mail@seirankan.blush.jp

ホームページ <http://seirankan.blush.jp>

